

承合事項 提案理由

承合事項 1:

図書館の利用者を増やすための取組み及びその成果

提出大学：福山平成大学

提案理由：

大学図書館は「知の拠点」である大学の頭脳と言われるように利用者（学生及び教員等）から必要とされる資料を可能な限り提供し、できるだけ利用し易い図書館であるよう努めています。福山平成大学附属図書館は今後も引き続き、図書館が特に学生等にとってより一層身近な施設となるような新たな取組みを検討しています。

各図書館でそれぞれ利用者を増やす取組みをしておられるとは思いますが、より多くの利用者増に伴う成果があった取組みについてご教示をよろしくお願いいたします。

承合事項 2:

開架スペース等が手狭になったことなどにより図書等を廃棄する場合のルールや方針等について

提出大学：呉工業高等専門学校

提案理由：

本校では、今年度、図書館棟の改修工事を行うこととなりました。しかし、改修後の開架スペースが、若干狭くなることとなり、現有図書等の一部を廃棄処分することとなりました。現有図書等の一部を廃棄処分することについては、以前から本校図書館の基本方針でもあり、4月現在「廃棄する図書」の選定方法について検討中です。

つきましては、他大学等において、開架スペース等が手狭になったことなどにより図書等を廃棄する場合のルールや方針等がありましたらご教示ください。

承合事項1 図書館の利用者を増やすための取組み及びその成果

提出大学名:福山平成大学

	図書館の利用者を増やすための取組み(具体的にご記入ください。)	その成果
<p>広島大学</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館の開館時間を延長 授業期平日24時まで(4/9～) 中央図書館24時間開館試行 試験期間前～試験期間中 土日含む (1/28～2/8) 中央図書館 空調管理随時調整、フタ付飲料持ち込み可 中央図書館 利用講習会(オンデマンド)H30年度実績90回 中央・西・霞・東千田 小展示(職員及び学生サポーター-HULS)H30年度実績 15回 	<p>その成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央図書館開館時間延長 H29年度比約1割増 中央図書館24時間開館試行 利用者数 試験期間前22時 300名以下 24時 150名前後 試験期間 22時30名以上 24時 200名以上 午前2～6時 試験初日以外で各時間帯100名以上
<p>尾道市立大学</p>	<p>まず、図書館に親しんでもらうため、マンガコーナーを設置しています。(現在約2,000冊)一般的に評価の高いものや、設置学科の研究対象となるものを中心に購入しています。 例:手塚治虫、藤子不二雄、水木しげる、さくらももこ、つげ義春、井上雄彦、吉田秋生 などの作品 ※貸出期間の延長不可・学内者のみ館外貸出可・予約可</p>	<p>休憩時間等に、設置以前と比べて多くの学生が閲覧し、また貸出を受けていますので、一定の効果は上がっていると思います。</p>
<p>県立広島大学</p>	<p>【設備の改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3キャンパスにおいて、自動貸出返却機を設置。 3キャンパスにおいて、館内フリーWi-Fiを整備。 3キャンパスにおいてゾーニングを推進し、グループ学修スペースや休憩スペースを拡大。 図書館入口の休憩スペースに、自動販売機の設置を試行中。(広島キャンパス) 図書館入口の「イートインコーナー」において、地域の飲食店による出張販売を推進。(庄原キャンパス) 3キャンパスにおいて、図書館システムを更新し、利用者向けWebサービスの充実を図る。 <p>【主な学内イベント・講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3キャンパス合同で、ブックハンティング及びビブリオリオバトルを開催。 3キャンパスにおいて、不用になった雑誌付録の抽選会を開催。(資料を借りた学生を対象として、窓口でくじ引きを行った。) 脱出ゲームを開催。(広島キャンパス、三原キャンパス) 外部講師による講座を3回実施。(広島キャンパス) (テーマ:プレゼンテーション、グループワーク、電子書籍) <p>【地域に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内中学生、高校生、地域ボランティアグループを対象とする館内見学ツアーを実施。(広島キャンパス、庄原キャンパス) 市内公共施設に約3,000部のチラシを配布し、また、市の回覧板を通じて、一般利用促進のための広報活動を実施。(庄原キャンパス) 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数(入館者数)増加。 H29年度からH30年度にかけて、入館者数の1開館日平均人数(3キャンパス合計)が、約30パーセント上昇。(H29年度1,129人→H30年度1,443人) 中学生・高校生の利用者数増加。 近隣の中高生の姿を見かけることが増えた

	図書館の利用者を増やすための取組み(具体的にご記入ください。)	その成果
<p>広島市立大学</p>	<p>・いちだいい知のトライアスロン事業 学生が、読書、映画鑑賞及び美術鑑賞を通じて専門分野を越えた幅広い教養を身に付けられるよう、平成22年度「いちだいい知のトライアスロン」事業を実施しており、その一環として、小説など学生が手に取りやすい内容の資料を館内に配備している。 ・ラーニング・コモンズ「いちこも」の整備 平成26年度から、館内の一部を改修しアクティブラーニングに対応した、能動的なグループ学習空間であるラーニング・コモンズ「いちこも」を整備している。これにより100人規模の収容力を備えるようになった。当該エリアではディスプレイやペットボトル飲料の利用が可能となっているため、プレゼンテーションの準備など多様な学習・交流のために活用されている。 ・館内展示 館内4～6か所で、季節や時事的な話題などに合わせてテーマを設定し、関連資料の展示を行っている。</p>	<p>取組みを開始した年度は前年度に比べ入館者増となった。 平成21年度 年間6万9,681人 平成22年度 年間7万2,667人(いちだいい知のトライアスロン開始年度) 平成25年度 年間7万9,451人 平成26年度 年間8万4,672人(ラーニング・コモンズ「いちこも」整備年度) 平成30年度 年間9万8,842人(直近の利用者数)</p>
<p>福山市立大学</p>	<p>1. 教育振興会による学生のILL料金の全額補助 2. ILL申込みのオンライン化 3. 選書ツアー回数増(2→4回/年)と冊数、金額を無制限に</p>	<p>1. 申込み増 2. 申込み増 3. 参加人数増</p>
<p>エリザベト音楽大学</p>	<p>・図書館規程では、「毎月1日は図書整理日として閉館」することになっており、1日が土日祝日に当たると場合は、近い平日を閉館日として作業をしていたが、利用者にとりできるだけ長時間開館するために、図書整理日閉館を、月初め土曜日の半日に変えて運用している。 ・卒業修了時に学部生院生に取るアンケートでは、図書館開館時間の延長を求める意見が書かれることがあり、過去何回も開館時間を早めたり、閉館時間を延ばしたりしたが、結局便宜を図った時間の利用者が少なく、現在は元の時間に戻し運用している。 ・図書館の一部を建て替えた際、閲覧室の机を加工し、全ての席にコンセントを付け、ノートパソコン持参が利用しやすいようにした。 ・学内全体でWiFi環境を整えた際に、図書館閲覧室でもWiFiが使えるようにした。 ・個別の事情に応じて、帯出日数延長や帯出冊数増加の配慮をしている。 ・閉館日であっても、利用希望があれば受け入れていた。</p>	<p>・上記の取組みにより、どのような成果があったか、具体的な数字は不明であるが、利用者の要望にできるだけ応えるよう努力をしている。</p>
<p>日本赤十字広島看護大学</p>	<p>本学も学生等にとって身近な施設になるよう努めてはいますが、年々利用者数や貸出冊数が落ち込んでいる状況です。 看護学の単科であるため、看護・医療・保健・福祉関係の資料の充実を図り、学生等も利用していますが、それ以外の資料もあるということを知り、展示を行っていません。 展示内容も以前は図書館独自で考えていましたが、それに加え学内行事(就職説明会、講演会等)に合わせたものも開催し、広報も館内、館外、学生・教職員ポータルで行い、ポスター・展示リストを添付しています。</p>	<p>期間中の展示資料の貸出数は集計していますが、成果として利用者や貸出冊数が増えたか否かの判断には至っていません。ただ、展示資料を立ち読みする、借りていく、予約がつくなどの反応に、少しでも図書館や資料に興味を持ってくれたのでは、という期待感があります。</p>

	図書館の利用者を増やすための取組み(具体的にご記入ください。)	その成果
比治山大学	<ul style="list-style-type: none"> ・自習パソコンの整備(本学は個人用PCやタブレットは持たせていません)プリントアウトを年間500ページまで無料(A4サイズモノクロの場合) 今年度からカラー A3サイズにも対応 ・募集企画の実施 <ul style="list-style-type: none"> 年2回実施 昨年度は 第1回「折り鶴を折ろう」(大学祭の展示に使用) 第2回「マスキングテープのデザイン募集」具現化する ・装飾 <ul style="list-style-type: none"> 月ごとに、入口自動ドアや館内に装飾 ・展示 <ul style="list-style-type: none"> 毎月テーマを決めて入口付近に展示 ・ビブリオバトル ・ラーニング・コモンズでの授業 ・お正月 おみくじ 	<p>ここ数年、利用者は、増加し続けています。本学は、個人パソコンを持たせていないので、図書館のパソコン利用は活発です。印刷のみの来館も多い。折り鶴の募集は、参加しやすかったのか、参加者は多かった。ラーニング・コモンズは、授業での利用も多く、図書館に来慣れた学生が、たびたび来館するようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度より5,487名の入館者数増となりました。
広島経済大学	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館壁面の装飾と本の展示(4月:新入生企画、12月:クリスマス企画) ・テーマを設定した推奨本の展示(毎月) ・図書館報JavaLaの発行(年2回) ・映画DVDの購入アンケートの実施 ・雑誌、図書のリユース ・ビブリオバトル ・図書館ガイダンス(入門ゼミ、演習) 	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者数及び貸出冊数等の数的増加は伺えない。 ・ブックハンティングでの購入図書は、1冊あたりの平均貸出回数が一般図書の3倍
広島工業大学	<p>図書館の利用者を増やすための取組み(具体的にご記入ください。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館ガイダンス: 図書館の概要説明を新入生対象に、4月1日～2日間で1学科/30分を計12回行う。<広報> 2. 初年次ゼミナール: 図書館の特徴・利用方法を5月～6月にかけて、1学科/90分(12回)授業の一環(課題有)として行う。<利用促進> 3. 図書館キャラクターの露出。<広報> 4. 図書館だより(特集等)リーフレットの発行・配付<広報> 5. 大学院生の「図書館学生アドバイザー」による学生サポート・リーフレット配付<広報> 6. 授業での図書館活用を全教員へお願いする。<利用促進> 7. 出版社の専門講師によるセミナーを行う。<データベース利用促進・情報リテラシーの向上> 8. 学生による図書選書「ブックハンティング」: MARUZEN 広島店にて学生の視点で選書した図書を購入し配架する。<利用促進> 9. ポイントカード発行によるポイントの付与<利用者促進> 	<p>図書館の利用者を増やすための取組み(具体的にご記入ください。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館ガイダンス: 図書館の概要説明を新入生対象に、4月1日～2日間で1学科/30分を計12回行う。<広報> 2. 初年次ゼミナール: 図書館の特徴・利用方法を5月～6月にかけて、1学科/90分(12回)授業の一環(課題有)として行う。<利用促進> 3. 図書館キャラクターの露出。<広報> 4. 図書館だより(特集等)リーフレットの発行・配付<広報> 5. 大学院生の「図書館学生アドバイザー」による学生サポート・リーフレット配付<広報> 6. 授業での図書館活用を全教員へお願いする。<利用促進> 7. 出版社の専門講師によるセミナーを行う。<データベース利用促進・情報リテラシーの向上> 8. 学生による図書選書「ブックハンティング」: MARUZEN 広島店にて学生の視点で選書した図書を購入し配架する。<利用促進> 9. ポイントカード発行によるポイントの付与<利用者促進>
広島国際大学	特筆すべきものはありません。	

	図書館の利用者を増やすための取組み(具体的にご記入ください。)	その成果
<p>広島国際学院大学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対象は大学図書館の蔵書として、図書館懸賞作品コンクールを開催している。 ・4月～12月までの期間に図書館で貸出の多かった13名の学生に図書カードを進呈した。 ・年2回、スタンブラリーを行い、参加する学生にスタンプカードを発行して、3冊以上借りた際、図書カードや雑誌の付録などをプレゼントしている。 ・七夕のイベントでは、学生にも短冊に願いを書いてもらっている。クリスマス飾りつけを学生にしてもらっている。 	<p>どの取り組みも毎年行っており、特に成果は上がっていない、と思られる。</p>
<p>広島修道大学</p>	<p>1. ブックハンティングの開催 毎年館内において、学生・教職員参加のブックハンティングを実施している。ブックハンティングで選書された図書は展示コーナー(下記項目2参照)に配架し、他の図書と区別して自分たちが選んだ図書をすぐに学生が貸出できるようにしている。</p> <p>学生組織が主催し、展示する図書の選書や運営等にも関わること、学生同士の繋がりがりによる図書館利用の広がりにも期待している。</p> <p>2. 時機を狙った企画展示 館内に設置されている展示コーナー専用書架で年3回、①新年度スタートに向けた選書、②ブックハンティングで選書された図書、③図書館職員が決めたテーマに沿った選書を行っている。また、ブックラックを利用したミニ展示コーナーでは、図書館広報誌で紹介した本、他部署と連携した内容、芥川賞などの受賞本特集等、図書館職員が決めたテーマで随時展示している。企画展示は、書架で埋もれていた蔵書を表に出し目に向けてもらう良い機会となっている。展示の装飾や図書の並べ方は、表紙を向けた配架でより目に付きやすくするなど、興味が湧き手に取りやすい雰囲気を作るよう工夫している。</p> <p>3. 広報活動 図書館の行事・展示コーナーの案内・その他利用について、ポスター、ホームページ、フェイスブック、館内・館外の電子掲示板、図書館広報誌、ガイドダンスなど、様々な形態での広報に努めている。</p> <p>広報誌については、館内および学内各所で配布している。また、初年次生全員の授業や文献検索ガイダンスで配布し、できるだけ多くの学生の手に渡り読んでもらえるように努めている。</p> <p>初年次生対象の授業を1コマ担当し、図書館の利用方法や施設設備についての講義を実施していることも、より図書館の認知度を高められていると思われる。</p>	<p>1. ブックハンティングの開催 学生が直に選書する機会を学内に設けることで、普段書店に足を運ばない学生にも気軽に図書に触れてもらうきっかけとなっている。また、実施後のアンケートでは「もともと本を読みたくなかった」「また参加したい」等の声があり、図書館や本そのものに興味関心を持つ層を広げるのにある程度の役割を果たしていると思われる。</p> <p>2. 時機を狙った企画展示 展示コーナーの本は全般的に貸出中の状態が続くことが多くよく利用されている。特に広報誌に掲載されている「教職員のお薦め本」の展示図書は人気が高く、学生が教員やその専門分野を知るきっかけにもなっている。</p> <p>3. 広報活動 ILLの利用やグループ学習室の利用等、図書の貸出だけでなく学生の利用の幅が広がっていると感じている。</p>

	<p>図書館の利用者を増やすための取組み(具体的にご記入ください。)</p>	<p>その成果</p>
<p>広島女学院大学</p>	<p>①ラーニング・アドバイザーの配置 ラーニング・アドバイザーは図書館1階パソコンコーナーの中央に、曜日によって支援時間は違いますが、月曜日から金曜日まで常駐しています。支援内容は「卒業・レポートの指導」「授業に関する相談」「パソコンの操作方法」等です。現在5名のラーニング・アドバイザーで対応しており、全員本学の卒業生で、専門分野は日本語分野、英語分野、理数系分野です。ラーニング・アドバイザーへの相談は直接パソコンコーナーに行ったり相談することもできますが、図書館HPから日時を予約して相談することもできます。集中的に指導を受けたい場合は、別の部屋で個別学修支援を受けることもできますし、「レポートの書き方講座」「広島ガイドセミナー」「日本語検定セミナー」等の各種講座も実施しています。</p> <p>②学修環境の整備 図書館1階のパソコンコーナーのパソコン24台とプリンター6台を2018年3月に新規入替をし、2019年3月に学生貸出用ノートパソコン20台を新規入替することにより、学生の学修環境を整備しました。</p> <p>③図書館職員と教員が連携して、図書館で授業を実施し、図書館業務の説明や実務体験を行いました。</p> <p>④英語多読図書の実施 「Graded-Readers」等の英語多読図書をレベルごとに分けて、授業の中で学生に読ませています。</p> <p>⑤課題図書の実施 2019年度から各学科の有志教員により、既存の図書館資料を利用または新規購入して、学生に授業の課題を提出させる「課題図書」の実施をします。課題図書として利用する資料については、冊子体資料、電子資料どちらも可としています。</p>	<p>①ラーニング・アドバイザーの個別学修支援の相談者が2017年度は245名でしたが、2018年度は499名に増加しており、2017年度に比べて相談者が2倍となっています。</p> <p>②情報機器が新しくなったことにより、学生がレポート作成等で図書館のパソコンを利用する人数が増加しました。</p> <p>③図書館で授業を実施するため、入館者数が増加しています。</p> <p>④国際英語学科の教員から「Graded-Readers」を借りて読むように指示が出るカウンターに行列ができるほど、学生が本を借りに来ています。</p> <p>⑤今年度からの実施のため、成果についてはわかりません。</p> <p>【全体的な成果】 入館者数は3月末の時点で、2017年度は57,401名、2018年度は57,244名で全体的には少し減少しています。しかし8月は2,012名(昨年度:1,529名)、10月は6,759名(昨年度:6,321名)、11月は7,028名(昨年度:6,237名)、12月は6,738名(昨年度:6,635名)、1月は4,964名(昨年度:4,756名)、3月は994名(昨年度:943名)となっており、後半は入館者数が増加しています。理由はパソコンを使用してレポートの作成をした学生の増加と授業の課題に必要な資料の複写をする学生が増加したこと、英語多読本の貸出のための入館者数増加、ラーニング・アドバイザーの相談者数の増加等が考えられます。</p>
<p>広島都市学園大学</p>	<p>昨年度までの取り組み 授業担当教員と連携：授業課題のために必要な書籍の展示や授業での活用 教員から課題の内容を事前に伺い、関連書籍を集める(選書含む)。準備をし、課題公表日に合わせて展示を開始する。担当教員が課題公表と共に図書館に関連書籍が展示してあることを広報する。図書館でも館外にポスターを張り出し広報した。 また、教員が授業で場所を活用したり、授業中に学生と来館し本を借りたりすることもある。</p> <p>今年度からの取り組み 学生が中心となる活動の取り入れ：図書館サークルの立ち上げ 本年度から、学生目線で学生が来館し図書館づくりを目的とし、図書館サークルを立ち上げた。各キャンパスでメンバーがあり、サークルの展示や飾り付け、イベントの企画等を行っている。また、図書館便りの発行やカルタ(学習支援)の作成が企画進行中である。このようにして学生の活動の場や機会をつくり、そこから他の学生に広げていくことを目指している。 まだ2カ月しかたっていないため、正確な結果は来年度以降となる。</p>	<p>昨年度初めて行った授業と図書館の連携展示では、期間中の利用者が他の月に比べて、さらに前年同月比も増加が顕著であった。</p> <p>教員が授業で図書館を利用したり、図書館との連携を密にしたりすることで、普段図書館を利用していなかった学生が来館するきっかけを作ることができた。</p>

<p>広島文化学園大学</p>	<p>図書館の利用者を増やすための取組み(具体的にご記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長開館時間の増。H29年度から火曜～金の閉館時間を18時から19時に変更し、土曜半日開館を開始(長東) ・同上:同年より木曜の開館時間を19時から1時間増加し、平日すべてを20時閉館に変更(阿賀) ・ノートパソコンの館内貸出。プリンターの利用も併せて提供(長東・阿賀) ・ブックイベントで「本の福袋」を学生参画で実施(長東) ・年に一度の定例となっている選書ツアーを実施(坂) ・ビジュラックラウド(医学・看護映像配信サービス)の提供を開始(阿賀) ・展示コーナーを新設、教科別図書や国試問題集を新レイアウトで提供(阿賀) ・楽譜約8,000点の分類を実施(長東) 	<p>その成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入館者が前年比24.6%増加(長東) ・ノートパソコン貸出回数前年比 134%増(長東)20%増(阿賀) ・「本の福袋」イベントに11名学生が参加し、入学支援センターのタイムラインに配信 ・75冊(一袋3冊)の貸出があり、地域の方にも絵本の福袋が好評(長東) ・選書ツアーでは学生が選書した図書は一般学生の興味を引きやすく、学生が求める図書資料の傾向を入手(坂) ・ビジュラックラウドの利用により、自宅や電車の中でも隙間時間に映像で学習が可能(阿賀) ・楽譜の行方不明探索時間が低減(長東)
<p>広島文教大学</p>	<p>本学も特に学生にとって身近な施設になるよう少しずつ改善をしているところですが、入館者が増えている割に、貸出冊数が伸び悩んでいます。</p> <p>新着図書の展示を学生の目に付きやすい場所に配置し、手に取りやすくしています。</p> <p>学生の利用が多いラーニング・コモンズ(1階)へ直接入館できるように、入館システムを設置しました。(※図書館の入口は2階のみです。)</p> <p>それに加え、ラーニング・コモンズ設置資料の充実を図りました。</p>	<p>ラーニング・コモンズの利用者が増えただけでなく、図書館全体の利用者が増えたように思います。</p> <p>ただ、図書館の取り組みの成果がグループワークの課題が増えたためかかは判断が難しいところです。</p>
<p>福山大学</p>	<p>① 読書推進e-learningシステム」を学内ポータルで実施 読書技能修得を目指すシステム。昨年度から今年度まで、私立大学図書館協会の助成金を得て、研究中。</p> <p>② 「新入生にすめる50冊の本」を刊行 福山大学の学生、教職員から原稿を募集し、優秀作品を掲載。</p> <p>③ 「図書館ガイダンス」の実施 ①のシステムと連携し、①の成果物の一部も掲載。</p> <p>④ 「図書館ガイダンス」の実施 新入生のガイダンス中心に行われてきたが、ゼミ単位での開催や、上級生向けのデータベースガイダンス等を、授業に出向き行うことも増え始めた。</p> <p>⑤ 「学内ブックハンティング」を実施 年に2回、学生を対象に館内で、ブックハンティングを実施。</p> <p>⑥ ビデオオハトル開催 学生図書館ボランティアとの学生協働図書館イベント、業務の補助。</p> <p>⑦ リーフレットの発行。 大学図書館学生協働交流シンポジウムへの参加。 大学図書館スペースとサイレントスペースの区分け</p>	<p>②の刊行開始直後、学生の貸出冊数は減少しなかった。</p> <p>⑥での「大学図書館学生協働交流シンポジウム」への参加後の学生は、図書館ボランティアの活動や、学内での活動をより積極的に取り組むようになる傾向にある。</p> <p>⑦実施直後、学生の入館者が増えたが、残念ながら、現在の入館者数、貸出数は減少傾向にある。ただ、取り組みにより、更なる減少を食止める事が出来ているのかもしれない。</p> <p>①のシステムは2019年度から「日本語表現法」(全学1年次必修)で取り組むとともに、教育ともつなげることを目指して、実施が始まっている。その成果を見るのは、今年度の検証シンポジウムを踏まえた2020年度以降となる。他館の取り組み状況を参考にさせていただきたい。</p>

	図書館の利用者を増やすための取組み(具体的にご記入ください。)	その成果
福山平成大学	<p>特定の授業で図書館を利用したカリキュラムの編成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入生を対象とした図書の利用・貸出の指導 ・一部の学科を対象とした文献検索・取寄依頼方法の指導 ・データベースを活用した課題の提出 	<p>新入生や特定の学科の学生の利用者数は増加したが、合計数にすると昨年度と同定度です。</p>
安田女子大学	<p>2018年9月より図書館優良利用者表彰制度を開始した。</p> <p>【概要】 最も入館回数が多かった学生並びに最も貸出冊数が多かった学生、それぞれ上位3名を表彰する。</p> <p>【対象期間】 前期：4月1日から8月31日まで 後期：9月1日から1月31日まで</p> <p>【統計方法】入退館データ・貸出履歴データを利用。エントリー不要。</p> <p>【表彰等】 ＜最優良賞＞ 「入館回数の最も多い者」と「貸出冊数の最も多い者」の計2名を表彰し、各々に賞状および図書カード(10,000円分)を副賞として授与する。 ＜優良賞＞ 「入館回数が2番目と3番目に多い者」と「貸出冊数が2番目と3番目に多い者」の各2名(計4名)を表彰し、各々に賞状および図書カード(3,000円分)を副賞として授与する。</p>	<p>前年度同期間の入館者数・貸出冊数と比較したところ、入館者数については前年度と同程度、貸出冊数については、前年度比で約103%となった。</p> <p>今後、制度の告知方法や表彰等のあり方など、より効果的な方策を探っていきたいと考えている。</p>
近畿大学工学部	<ul style="list-style-type: none"> ・例年開催している「学生選書の会」(年3回活動)において、平成30年度はそのうち1回を「学内ブックハンティング」として開催しました。(学内の紀伊國屋書店ブックセンターで選書。) ・毎年「学生選書の会」コーナーの図書は人気で貸出も多い状況です。 ・教員のおすすめ本を紹介する「読書ガイド」を平成29年4月から毎月(長期休暇は除く)実施しています。(平成31年6月で通算21回)選書された図書を展示コーナーで紹介して学生の関心を高めています。過去のものも含めてパネル展示し、利用者の目に留まりやすいように掲示しています。 ・平成29年3月から、近畿大学キャンパス間の「取寄せサービス」を運用しており、OPACからの予約で他キャンパスの図書を貸出することができます(無料)。平成30年9月から7か所すべてのキャンパスでサービスが開始しております。 ・平成30年度末に、AV設備(VHS、DVD)の更改を行い、4K・液晶フルハイビジョンモニター(各2台)、ブルーレイディスクレコーダー(4台)を導入しました。また、椅子(4脚)もリクライニング対応のリラックスタイプを導入し、利用者が心地よくAV視聴できる環境を整えました。 	<p>平成30年度は、7月豪雨の影響もあり年間開館時間が減りましたが、利用者数は前年度に比べ微増でした。 (平成30年度：開館272日、利用者60,992人、平成29年度：開館279日、利用者60,513人)</p>

	図書館の利用者を増やすための取組み(具体的にご記入ください。)	その成果
海上保安大学校	<p>(1)「読み物」としての図書の充実 学生・研修生から、主として小説や自己啓発関係の図書のリクエストを募り、それを元に選書、購入を行い、特設コーナーを設けた。</p> <p>(2) 土曜授業日の開館(試行、平成29、30年度実施) 授業のある土曜日に、試行的に図書館を開館した。</p> <p>(3) 最新の読書事情等の情報提供 ベストセラー本、各種大賞受賞本を週ごとにランキング形式で、紹介コメントを付して紹介する掲示物を作成し、図書館内はもとより、学生・研修生の目に留まりやすい場所に掲示して、最新の読書事情等の情報を提供し、学生・研修生の読書意欲高揚に資する周知を継続して行なっている。</p>	<p>その成果</p> <p>(1)について 当該特設コーナーの図書は、他の配架場所の図書(専門書など)と比較して、貸出率が高く、そのコーナーの図書を目当てに図書館を訪れる利用者も見受けられる。一方で、貸出実績がない図書も多く、リクエストの募り方や選書について見直し・改善を図ることとしている。</p> <p>(2)について 試験前を除き、あまり顕著な成果は得られなかった。今年度は取り止めた。</p> <p>(3)について 即効的に目に見える成果は得られにくいと思われるが地道に継続していくこととしている。</p>
山陽女子短期大学	<p>① 本やDVDを貸し出す度に、1枚の応募券を発行しています。月1回雑誌の付録を抽選でさしあげるのに応募してもらいます。</p> <p>② 半年に1回、雑誌を差し上げていますが、応募券1枚につき3冊としています。</p> <p>③ 授業で図書館を利用して頂き、授業の前に利用説明のガイダンスを行い1人1冊以上の本を借りるように教員から指導してもらっています。</p>	<p>① 5月に行った付録差し上げますには、8点の付録に90枚の応募がありました。</p> <p>② 1月に実施した雑誌さしあげますは、ほとんどがなくなりました。</p> <p>③ 現在、3名の教員の協力で、受講学生はすべて本の貸し出しを行い、継続して借りる学生もいます。</p>
呉工業高等専門学校	<p>・試験期間中は、夜間及び土日開館時間を以下のとおり長くしている。 授業期間(夜間)・・・17:00～20:00 授業期間(土)・・・10:00～15:30 授業期間(日)・・・休館</p> <p>試験期間(夜間)・・・17:00～21:00 授業期間(土日)・・・9:45～17:30</p> <p>・学生の図書購入希望を受付けている。 ・毎年、ブックハンティング(学生に書店で実際に選書をしてもらう)や教職員の推薦図書配架など、事務職員以外の視点からも選書を行っている。</p>	<p>・試験期間中は通常時の2～3倍程の利用者数となる。 ・定期的に学生からの図書購入希望があり、一部ではあるが学生の意見も反映できている。</p>
広島商船高等専門学校	<p>・4月に1年生の国語の時間を半コマ使って、1年生全員を対象にガイダンスを行っている。 ・6月頃に教員や専攻科の学生を対象に文献検索講習会を実施している。講師は教員に依頼している。 ・就職・資格コーナー、ベストセラーコーナー、マンガコーナーなどを設置している。</p>	<p>ガイダンスを実施した後に1年生の利用が目立って増えている。また、就職・資格コーナー、ベストセラーコーナーの資料は利用が多く、一定の成果は上がっている印象がある。</p>

承合事項2 開架スペース等が手狭になったことなどにより図書等を廃棄する場合のルールや方針等について

提出大学名: 呉工業高等専門学校

	図書等を廃棄する場合のルールや方針等 (可能な範囲でご記入ください。規則等があれば添付願います。)	規則添付
広島大学	以下2点の要領に基づいて処理する。(要領は別紙参照) ○広島大学図書管理事務取扱要領 第4章 図書の除却等 ○図書館資料の保管及び廃棄等に係る処理要領 第3章 図書 第5条(除・売却と廃棄)	あり (2件)
尾道市立大学	狭隘化対策として、複本や活用が見込めない資料を館員がリストアップし、その中から教員に必要な資料を選定してもらい、研究室所在にしています。 よほどの汚損・破損がある場合は、そのまま廃棄処理をしていますが、基本的には別置保管しています。	なし
県立広島大学	公立大学法人県立広島大学図書管理規程(平成22年4月1日 法人規程第5号)からの抜粋 (不用図書の申請) 第18条 図書が不用となった場合、図書管理者は、学術情報センターキャンパス運営委員会に諮問し承認された不用図書について、図書管理責任者に対し別記様式により申請しなければならない。 (除却決定の基準) 第19条 図書管理責任者は、前条の申請を受けたときは、次の各号に該当する場合に限り、除却の決定を行うことができるものとする。 (1)保管中の事故により亡失し、所在不明及び回収不能であると確認された日から満3年を経過した図書 (2)頻繁な利用により破損又は汚損が著しく、利用に供せない図書で修繕に要する費用が当該図書の購入費より高価とされる図書 (3)学内での所蔵が重複している複本で、保存の必要がないと認められる図書 (4)改訂版の出版等により、利用価値を失い、保存を必要としない図書 (5)日時の経過により、利用価値や利用手段を失い、保存を必要としない図書 (6)その他図書管理者が除却を適当と認めた図書 2 図書管理者は、除却の決定がなされた図書について、理由を付して学術情報センター運営委員会に報告しなければならない。 3 除却した図書は、蔵書印及び登録番号を消印した上、処分するものとする。	なし

	図書等を廃棄する場合のルールや方針等 (可能な範囲でご記入ください。規則等があれば添付願います。)	規則添付
広島市立大学	<p>公立大学法人広島市立大学図書管理規定において、図書の除却について下記のとおり定めている。</p> <p>第4章 図書の除却 (除却の基準)</p> <p>第15条 図書管理責任者は、図書が次の各号のいずれかに該当する場合は、当該図書を除却することができる。</p> <p>(1) 破損又は汚損が著しく、補修不能な図書 (2) 蔵書点検の結果、亡失したと認められた図書 (3) 天災又は事故等により滅失した図書 (4) 保存の必要がないと認められた図書 (5) 前各号に掲げるもののほか、図書管理責任者が除却を適当と認めた図書</p> <p>(図書の除却手続)</p> <p>第16条 図書の除却手続については、別に定める。</p> <p>第15条4項の基準については図書資料の除却に関する取扱い方針で</p> <p>4 除却の基準</p> <p>(4) 不用</p> <p>ア 時間の経過によって内容が古くなり、資料的価値がなくなったもの。</p> <p>イ 複本の所蔵が多く、しかも利用の少ないもの。</p> <p>ウ 新版・改訂版または同種資料の入手によって、代替可能となったもの。</p> <p>エ 新聞・雑誌については、定められた保存年限を経過したもの。及び除却図書の譲渡についてなど、詳細は別添のとおり。</p> <p>と定めている。</p> <p>添付資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書資料の除却に関する取扱い方針 ・除却図書資料の譲渡に関する取扱い 	あり (2件)
福山市立大学	廃棄・除却に関する規定がありません。	なし
エリザベト音楽大学	<p>・廃棄について、明文化された規則はない。</p> <p>・媒体変更や汚損で廃棄する場合は、代替りの資料を可能な限り購入しているが、AV資料は演奏者同一のものがなかったり、楽譜も出版社違いになる場合がある。</p> <p>・手狭になった場合の廃棄は、専任教員全員に廃棄予定資料のチェックをお願いし、必要な資料を選択してもらう。</p> <p>廃棄に決まった資料は、一定期間、展示を行い、希望者に譲渡している。</p>	なし
日本赤十字広島看護大学	日本赤十字学園共通の「図書館資料除籍基準」(添付)をもとに図書委員会で協議後、学内決裁を経て除籍。廃棄は学内に利用希望者を募った後、残った資料をブックケアプロジェクト(古本募金)へ送付しています。本学の特徴として看護・医療・保健・福祉関係資料の複本が多いこともあり、古い年代の資料から1~2冊を残し徐々に廃棄していますが、書棚狭隘化のための除籍ルールは未検討です。	あり (1件)

	図書等を廃棄する場合のルールや方針等 (可能な範囲でご記入ください。規則等があれば添付願います。)	規則添付
比治山大学	<p>本館も昨年、大量の除籍を実施しました。(約4,400冊)</p> <p>1) 資料を移動させる際、移動先が狭く大量の資料を除籍する必要があった。</p> <p>2) 蔵書点検が終了し、目視で見つからなかった資料を除籍。</p> <p>3) 研究室や教室の移動の際、古く汚れた資料が大量返却された。その際は、いつ作ったものなのか不明ですが、「内規(覚書?)(図書を除籍)」に基づいて除籍しました。</p> <p>具体的には、副本、汚損・破損、紛失、内容が古い、科研除籍(該当教員の他大学への移籍)のどれかに当てはまるものです。</p>	あり (1件)
広島経済大学	<p>書庫の狭隘化によって、本学も図書の除籍・廃棄を行っている。昨年度900万円、一昨年度1,300万円余(簿価)を廃棄した。</p> <p>廃棄のルールは、以下の資料管理内規に則り、主に重複図書を廃棄した。</p> <p><資料管理内規> 広島経済大学図書資料管理内規 (趣旨)</p> <p>第1条 この規程は、広島経済大学図書館規程第3条第2項に基づき、広島経済大学図書館に所蔵する図書資料(以下「資料」という。)の収集及び管理に関する必要な事項を定める。</p> <p>(用語の定義)</p> <p>第2条 この規程における収集とは、資料の選択、発注、検収、受贈、交換又は受託による資料の調達をいい、管理とは図書の登録、整理、保管、利用、点検、除籍及び廃棄をいう。</p> <p><中略> (除籍)</p> <p>第15条 固定資産とした資料のうち、次の各号の1に該当するものは、所定の手続きにより除籍することができる。ただし、この場合除籍すべき資料について理事長の承認を得なければならない。</p> <p>(1) 盗難、紛失等により所在不明となって2年を経過したもの</p> <p>(2) 破損、汚損又は摩耗度が甚だしく、補修不可能なもの</p> <p>(3) 資料価値を失い保存の必要がないと認められるもの</p> <p>(4) その他特に館長が適当と認めたもの</p> <p>2 固定資産とならない資料については前項を準用する。</p> <p>(廃棄)</p> <p>第16条 前条により除籍・抹消すべき資料については、所定の手続きを経た後廃棄する。</p>	なし

	図書等を廃棄する場合のルールや方針等 (可能な範囲でご記入ください。規則等があれば添付願います。)	規則添付
広島工業大学	<p>図書館各系の事務手引きとして、「スタッフマニュアル」を作成し各業務を遂行している。 「スタッフマニュアル」に「図書などの除籍・廃棄の取り扱い」を以下のとおり定めている。</p> <p>1. 除籍・廃棄の対象となる図書等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 汚損および破損が激しく、使用不可能なもの。 2. 利用者の申告により、紛失が確定したもの。 3. 現物照合の結果、不明図書として3年を経過し、紛失として認定されたもの。 4. 長期間利用されていない資料の複本。 5. 資料的価値を失ったもの。(内容が古く、代替資料があるもの) <p>2. 除籍・除籍の手続き</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象となる図書などについては、慎重に検討の上、除籍明細書を作成し、決裁を経て年度内に一括して除籍する。 2. 除籍する図書は、蔵書印を抹消する。 3. 「図書原簿」の該当図書の備考欄に、除籍年月日を記入する。 4. 決済を受けた除籍図書は、一括して保留し、教職員及び学生対象に再利用の手続きを行った後、適当な時期に廃棄手続きをとる。 	なし
広島国際大学	<p>第24条 廃棄処分および交換は、総括管理責任者が決裁する。</p> <p>2 廃棄処分は、つぎの各号に該当する場合に所定の「図書廃棄処分申請書」により行うものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> イ 図書としての利用価値を失い、保存の必要性が認められないもの ロ 天災・火災で滅失したもの ハ 盗難で回収不能となったもの ニ 紛失で回収不能となったもの ホ 所在が不明となり3年経過したもの ヘ 破損・汚損・切取りがあり用をなさなくなったもの ト 再製本に堪えないもの チ その他廃棄が適当と認められるもの <p>3 廃棄処分の決定した図書は、総括管理責任者の決するところにより、これを売却、寄贈または焼却するものとする。</p>	なし
広島国際学院大学	<p>特に規則はないが、書庫の狭隘のため、図書館でルールを作り、運用をした。</p> <p>【図書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複本は、最高2冊までとし、3冊目から除籍をする。 ・資格、就職関連図書の旧版は除籍をする。 <p>【製本雑誌】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料公開されている製本雑誌は除籍をする。 ・継続が止まっており、数冊しか所蔵していない製本雑誌は除籍をする。 ・専門でない製本雑誌は除籍をする。 	なし

	図書等を廃棄する場合のルールや方針等 (可能な範囲でご記入ください。規則等があれば添付願います。)	規則添付
広島修道大学	<p>広島修道大学図書資料収集・管理規程及び図書除籍に関する内規で規定している。</p> <p>広島修道大学図書資料収集・管理規程 第15条 第1項 固定資産とした資料のうち、次の各号の1に該当するものは、所定の手続により除籍することができる。ただし、この場合、それぞれの管理の責任者は、あらかじめ学長に除籍すべき資料について報告し、理事長の承認を得なければならない。</p> <p>(1) 盗難、紛失等により所在不明となって2年を経過したもの (2) 破損、汚損又は磨耗度が甚だしく、補修不可能なもの (3) 資料価値を失い保存の必要がないと認められるもの (4) その他特に管理の責任者が適当と認めたもの</p> <p>図書除籍に関する内規 第1条 第4号 図書館内の所蔵で重複する3冊を超えた図書</p>	なし
広島女学院大学	<p>本学では「広島女学院図書館資料管理規程」の第15条に(除籍・抹消)について記載しています。</p> <p>【規程】 第15条 本規程の第3条による資料の除籍基準は次による。</p> <p>(1) 亡失資料 ア 回収不能(災害等)の場合 イ 亡失後、大学では5年、中高では3年を経過しても発見できない場合</p> <p>(2) 汚損、破損資料 ア 補修不能の場合 イ 補修に要する費用が当該図書の購入費より高かつき、容易に入手できる場合</p> <p>(3) 数量更正資料 合冊によって数量更正した場合、不用の登録番号を除籍する。</p> <p>(4) その他 ア 大学 (ア) 本規程第3条及び第6条の条項に照らし、図書館長が除籍を適当と認めた場合 (イ) 利用できなくなった視聴覚資料及び電子資料 (ウ) 蔵書構成等の変更により、複本の必要がなくなった資料 (エ) 内容が逐次又は改訂され、価値が失われた資料 (オ) 規則、基準の改定により、内容が不必要、不適當となった資料</p>	なし
広島都市学園大学	<p>本学ではこれまで書架の狭隘化に伴う廃棄をおこなったことがありません。</p> <p>現在の管理要項に則り、古い採用試験問題集や国家試験問題集、旧版の複本などの除籍を検討しているところですが、現時点で大量に廃棄を行う事を想定したルールや規則はありません。</p>	なし
広島文化学園大学	<p>本学では「広島文化学園図書館資料管理細則」に定められる通り、長期保存に耐えない等の理由によるものを、法人事務局に除籍承認を得た後に全教員に譲渡希望を募り、一定の期間を設けた上で譲渡・廃棄を行っている。</p>	なし

	図書等を廃棄する場合のルールや方針等 (可能な範囲でご記入ください。規則等があれば添付願います。)	規則添付
広島文教大学	<p>図書管理規程と雑誌等の保存年限及び廃棄に関する申し合わせに則り、行なっています。</p> <p>(図書)「広島文教大学附属図書館図書管理規程」</p> <p>(1) 著しく汚損又は破損し、修繕を行うことができないと認められる図書 又は修繕に要する費用が該当図書の取得等に要する費用より高価であると認められる図書</p> <p>(2) 保管場所が図書館の図書で忘失が発覚して3年以上経過した図書</p> <p>(3) 天災又は火災により滅失した図書</p> <p>(4) 図書の内容が改版等により、逐次改訂されて利用価値を失い、かつ、保存の必要がない図書</p> <p>(5) 必要冊数以上の重複図書</p> <p>(6) その他、図書館長が保存の必要がないと認めた図書</p> <p>(雑誌・新聞)「広島文教大学附属図書館における雑誌等の保存年限及び廃棄に関する申し合わせ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞 保存年限 3年 ・雑誌 学術雑誌 永年 一般雑誌 5年 <p>保存年限にかかわらず、次の場合は不要決定の対象としています。</p> <p>(1) 雑誌等のアーカイブが出版社又は国立情報学研究所(NII)等の機関において保証されたもので、本学から電子ジャーナル等により利用可能なもの</p> <p>(2) 雑誌等が電子媒体でのドキュメントデリバリーシステム(DDS)により利用可能であり、かつ、発行後10年以上経過したもの</p> <p>(3) 学術雑誌で受け入れた期間が2年以下又は欠号が甚だしいもの(3分の2以上が欠号)であり、かつ、発行後5年以上経過し、必要な場合には文献複写サービス(ILL)等により入手が可能なもの</p>	あり (2件)
福山大学	<p>毎年行う蔵書点検により、3年間不明だったものは、除籍対象資料としている。</p> <p>書架の狭隘化は本学でも苦慮しており、利用の少なくなった複本の一部を別置している。</p>	なし
福山平成大学	<p>本学は開架スペースに空きがあるので、現在は図書の廃棄処分は検討していません。</p> <p>消耗図書以外のものは除却手続きの了承後に図書の処分を行う方針です。</p>	なし

	図書等を廃棄する場合のルールや方針等 (可能な範囲でご記入ください。規則等があれば添付願います。)	規則添付
安田女子大学	<p>毎年度、年度末に向けて除籍資料を選定し計画的に除籍・廃棄を行っている。除籍・廃棄に関しては、「安田女子大学・安田女子短期大学付属図書館における図書館資料の不用決定及び廃棄に関する処理要領」に定められており、図書館運営委員会承認ののち決裁を受けて決定する(添付資料参照のこと)。</p> <p>除籍・廃棄の基準は次のとおり。</p> <p>(1) 数次にわたる所在点検調査にもかかわらず、その所在が確認できないと認めるとき (2) 資料が長期にわたる頻繁な使用などにより汚損若しくは破損が甚だしく、補修を行うことが不可能なものであると認めるとき (3) 資料の内容がすでに資料的価値を失い、かつ保存の必要がないと認めるとき。 (4) 複本資料のうち、重複して保存の必要がないと認めるとき (5) 災害又は盗難により亡失したと認めるとき (6) その他、館長が除籍を適当と認めるとき</p> <p>添付資料: 「安田女子大学・安田女子短期大学付属図書館における図書館資料の不用決定及び廃棄に関する処理要領」</p>	あり (1件)
近畿大学工学部	除籍処理については規程に基づき行っておりますが、廃棄する場合の明確なルールはありません。	なし
海上保安大学校	<p>当館においては、図書等の廃棄そのものについての規則等明文の規定はないが、図書の登録抹消(図書原簿から抹消)の手続きについては次のように規則で定められている。</p> <p>(1) 登録抹消する図書等の基準 ① 汚損、棄損はなはだしく、補修不能となったもの。 ② 内容からみて、既に利用価値が失われ、図書館に保管することが不適當と認められるもの。</p> <p>(2) 登録抹消手続き ① 登録抹消を行う図書等については、登録番号、分類番号、図書名、冊数、登録年月日、抹消の理由を記載した「図書の登録抹消伺」(所定の様式)を作成し、館長の決裁を受けるものとする。 ② 上記①により館長の決裁を受けた図書は、図書館の登録抹消図書コーナーに10日間公開展示し、教職員等からの異議がなかった場合に限り登録抹消するものとする。</p> <p>以上が、図書等の登録抹消の詳細であるが、実際に廃棄する場合には、登録番号(バーコード)及び分類番号(背ラベル)を塗りつぶす等、判読不能としている。 なお、図書原簿に登録していないもの(雑誌など)については、適宜処分している。</p>	なし

	図書等を廃棄する場合のルールや方針等 (可能な範囲でご記入ください。規則等があれば添付願います。)	規則添付
山陽女子短期大学	<ul style="list-style-type: none"> ・内容が逐次改訂され、又は改版などにより利用価値を失い、保存の必要がないと認められた図書 ・重複図書で利用度に比して複本数が多く、保存の必要がないと認められた図書 	なし
呉工業高等専門学校	<p>「呉工業高等専門学校図書館資料の不用決定に関する要領」より</p> <p>○廃棄対象(抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・破損、汚損等が甚だしく補修不可能な図書(かつ保存の必要がないもの) ・破損しており、補修費が取得費用より高価な図書(かつ保存の必要がないもの) ・時間経過により利用価値を失った図書(かつ保存の必要がないもの) ・複本図書(かつ保存の必要がないもの) ・図書館長が適当と認めた図書 <p>○手続き 教育センター委員会の議を経て、除籍を決定する。</p>	あり (1件)
広島商船高等専門学校	研究室備付図書については長期保存するものとし、ないものの規定(受入基準)があるが、図書館の資料については文書としての廃棄の規定はない。現実には、重複図書を中心に廃棄候補を選び、図書館運営委員会に諮ったうえで廃棄している。なお、廃棄後の資料を教職員や学生に譲渡する方法を現在検討中である。	なし